

令和8年度 第6回益富地域会議 会議録

日 時：令和8年9月16日（水曜日）19時00分～20時15分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞岩下 晟也、大石 茂則、桂田 章、加納 栄寿、
岸和田 紀美代、小松 幸司、櫻井 裕子、鈴木 昭雄、
鈴木 勲、鈴木 雅子、信川 浩二、橋本 卓美、
森本 泰崇、山田 武志
【欠席】梅村 哲平、柴田 栄作、中山 修
＜高橋支所＞ 前田支所長、吉野担当長

＜内容＞

1 会長あいさつ

2 豊田市長への提言について

事前に委員全員に送付した提言書（案）について、内容を確認し委員全員から意見を出してもらった。また、修正した方が良い箇所について全員で協議した。主な意見は以下のとおり。

【主な意見等】

- ・情報発信についてだが、現在の情報発信に対するルールや規律をどのようにして伝えていくべきなのか。そういう人材を育成していくという目指す姿が、中学校に依頼する際に説得力が強まると思う。最初は大人がベースを作り、最終的には継続的に子ども達で続けられるという形にしたいといったことを入れられるとよい。
- ・前文の「継続可能な益富地区」をもっと分かりやすい表現にしてはどうかと思う。継続可能という意味が分かりづらい。
- ・文章は平易な文章で、解決策については市が取り組んでいくことなので簡潔に書いた方がよいと思う。地域会議では大枠としてこのようなことを考えています、くらいの内容でよいと思う。
- ・「継続可能な益富地区」という表現は、交流とつながりが継続していることを表現したいかと思うので、「継続的な交流やつながりが可能な益富地区」とかにしては。
- ・解決策の（２）のタイトルは、「地域の活動・魅力を認識する情報発信の強化」にしても良いかと思う。
- ・今回の提言は、昨年度に行った提言（高齢者の孤独・孤立対策、移動手段の確保）につながる形で行うのか、それとも切り離して考えればよいのか。
→事務局：前回の提言とのつながりは無く、切り離して考えていただきたい。

上記の意見を踏まえて提言書の内容を修正して、最終的に正副会長に一任で完成させることを出席した委員全員から合意を得た。

3 事務連絡

(1) 次回の地域会議

令和8年度 第7回益富地域会議（市長への提言及び意見交換）

・日時：令和8年10月21日（水）19時～

・場所：益富交流館1階 多目的ホール

(2) 五ヶ丘まちづくりニュースレター第14号

令和8年8月22日（土）に開催した「第4回五ヶ丘活性化  プロジェクト全体会」について報告した。

(3) 市長との意見交換について

今回提言する地域の「交流・つながり」に関することに加えて、その他豊田市の実情に関することで市長に聞きたいことを当日までに考えておいてもらうよう事務局から連絡した。

以上